

# 作新学院高等学校同窓会報

発行 作新学院同窓会 〒321-0027 宇都宮市埴田1-3-27 船田教育会館内 TEL 028-621-9083 FAX 621-3941



北海道胆振東部地震・西日本豪雨災害等復興支援募金活動



## 作新の風ふきおこる

同窓会会長 安藤 寛樹(昭和45年卒)

作新学院同窓会の皆様、新年おめでとうございます。本年も昨年同様、宜しく願いいたします。

昨年を振り返ってみますと、1月の新年祝賀会・新成人祝賀会に始まり、女子部の隔年開催の総会・異業種交流会・江ノ島鎌倉研修旅行・ゴルフ大会・青年部主催によるバーベキュー大会など盛り沢山の事業を行いました。

特に成人祝賀会には、400名を超える成人者及び同窓生が一堂に会し、お祝いの会を開催。来賓として船田学院院长を始め学校関係者・衆議院議員4回当選の亀岡偉民先生、全国比例で初当選の自民党の佐藤明男先生もご出席いただき、花を添えていただき、成人者にアドバイスをいただきました。

わが同窓会は、船田先生を含め3名の国会議員、県・市議会議員の方は30名を超え、国・地方議会において活躍をしていることは大変誇りに感ずるところです。

また学生諸君の活躍も素晴らしく、部活動においては硬式野球が8年連続甲子園出場、ボクシング部においてはインターハイで20年ぶりに学校対抗優勝、他の部活も好成績を上げています。また学業においても現役2名を含む3名の東大合格・7名の東北大合格など素晴らしい成績を残しました。また社会貢献活動においても、学生の発案により被災地支援を“オール作新”で支援活動を実行、まさに文武両道、社会貢献活動の3本柱の活躍であり、誠に喜ばしい限りです

同窓会も多くの事業を通し“一校一家”の精神の下、学院と力を合わせ社会貢献活動を行い地域社会発展に貢献したいと考えております。今後共皆様のご協力をお願いし、学院の発展と同窓生皆さんの1年の活躍とご健勝を祈念申し上げます。



## 作新学院の文武、そして社会貢献活動

作新学院 院長 船田 元

我が国は昨年、明治維新以来150年という節目を迎えましたが、作新学院はそれに遅れることわずか18年でスタート。お陰様で創立133年を迎えることができました。それ以後私たちは営々として、中国の古典からとった「作新民」の建学の精神のもと、「文武両道」「社会貢献」を教育の三本柱として、日々励んで参りました。

「文」の世界では悲願でありました東京大学3名合格、東北大学7名現役合格、さらに難関国公立大学80名超合格など、トップ英進部の完成年度に相応しい成績を挙げることができました。また「武」の世界では、3年前に54年ぶり3度目の甲子園優勝を果たしたほか、いくつかの部がインターハイ、全国大会、国民体育大会などで、全国優勝を果たしました。今後とも一層の精進を重ねて参ります。

三つめの柱は「社会貢献」です。そのルーツを探ると創立者・船田兵吾まで行き着きます。兵吾の自宅も学校も栃木県庁の近くにありました。「足尾鉍毒事件」の告発と被害者救済に一身を捧げた田中正造氏は、県庁への抗議の後、しばしば兵吾宅を訪れ食事を共にし、肝胆相照らす間柄だったと伝えられています。時には尾行していた官憲を巻くため、裏口から逃したこともあったようです。そのため下野中学校は当時の県から睨まれ、15年ほど県の管理下に置かれたこともありました。

兵吾は失意の中で亡くなりましたが、決して後悔はしなかったと思います。兵吾は世の中のために何ができるか、何が良いことなのかを常に問いかける人間だったようです。そのような姿勢や考え方が現在まで伝えられているのかもしれませんが。今は幼稚園から高校・大学に至るまで「社会貢献」をいつも考えながら、生徒たちは頑張っています。

最近結成された年齢横断の「地球環境クラブ」では、ペットボトル・キャップの回収運動を続け、先

日は通算800万個を達成してお祝いをしました。また10年以上続いている足尾・松木溪谷での植樹活動、さらには中国の高校生との交流の中で、地球環境保護のためのシンポジウムを開催したこともあります。生徒たちは地球温暖化による影響を我がこととして捉え、足元から行動に移しています。

また「チーム・テレサ」という、難民救済でノーベル平和を受けたマザー・テレサの名に因んだグループは、東日本大震災以来、被災地支援のための募金活動を続けて来ました。また昨夏の西日本七月豪雨災害では、みかんの産地として有名な宇和島が水害に遭い、みかん作りを諦める農家があることを生徒たちが調べました。なんとかみかん農家を助けたいとして、募金活動と支援のためのパネル作成をしました。早速宇和島から選果場の代表の方々から作新にお礼に来てくれました。

さらに広島県の呉市内も水害に遭遇し、図書館が水浸しになった小中学校4校に、本を贈ることを生徒たちが考えました。送った本は「作新学院文庫活動」というレッテルを貼っていただき、大切に読んでいただいているようです。活動は海外にも及び、アフリカの子供たちに中古の運動靴を送る「アフリカ一万足プロジェクト」、そしていま取り組んでいるのはアフガニスタンにランドセル贈る活動です。

それぞれの活動に対して作新学院同窓会の皆様からも、多額の寄付金や物資を提供していただき、紙面を借りて厚くお礼を申し上げます。今後とも私たちは目に見える支援、息の長い支援を行って参りますが、活動を通じて子供たちが「自分一人で生きているのではない」「誰かの助けによって生かされている」という現実を知ること、そしてそれが人格の形成につながることを期待しています。同窓会皆様からどうぞ温かい目で見守っていただければ幸いです。

### 学院近景







## こんじき 金色の鳥

作新学院 副院長 塩野谷 英彦

晩秋の空に銀杏の葉が照り映え、金色の小さな鳥の形をしながら、はらはらと落ちていく。晶子の歌がそう感じさせるのか、これほど夕日の似合う落ち葉はない。グラウンドを囲むように、銀杏が立つ。その佇まいは、空に向かって凜として、一本一本自立している。立ち姿の美しい樹木である。

銀杏は、原始からの樹木であり、油分も多く、そのため、堆肥にはならない。昔聞いた話だが、落ち葉を貰い受ける業者が、銀杏の葉一枚でも入っていると持って行かなかったそうだ。ほとんど朽ち果てるということがない。円地文子は随筆「銀杏」の中で、その生命力の強さを語った。「なまみこ物語」で、妖艶な悲劇を流麗な文体で語った筆力が、たくましさの象徴としての銀杏に向かう。古来から公孫樹とも。先祖が植えた銀杏の木は、孫の代になって実をつけるからと言う。古刹などには大銀杏が聳え立つ。生命力のあふれるギンナンの匂いとともに、落ち葉の舞い散る音を聴くのも、楽しいものだ。堀口大学訳だったか、「君は好きか、落ち葉踏む音を」というグールモンの詩を思い出す。しきりに重なり合っただけで落ち葉が降る。落ち葉に寂寥を感じたリルケは、絶対的な孤独を謳った。枝が剪定された年は当然落ち葉はないが、翌年には豊かに茂り、落ち葉を積もらせる。しきりにしきりに降り積もっていく。今年もまた、早朝落ち葉掃きの季節が巡ってきた。竹箒でさらう音がリズムよく響き、生徒たちの楽しげな会話が校舎の隙間に響く。

学校にはいろいろな音があり、耳を澄ませば、複雑な音の繋がりが、オーケストラの譜面のようにならぬように流れていく。あちこちで啼く鳥の声や、道路を走る救急車のサイレンだけではなく、部活の朝練のグラウンドを巡る掛け声。音程の練習をする金管楽器の唸り。マーチングバンドの行進。さらに合唱コンクールの音合わせ。学校の生活そのものが音に満ちあふれ、音とともに時が刻まれていく。授業の終わりのチャイムと椅子を引く音。その響

きは校舎を揺らす。良く学習環境を整えるには、静寂が必要と思われがちであるが、決してそうではない。集中力とはいかなる場所でも発揮できることが必要なのだ。大学受験に行った生徒が、受験場のスチームの規則的な金属音に悩まされ実力を発揮できなかったと恨み言を言っていたが、大音量の中でも意識を集中して問いを解く精神力が求められると言ってよい。不思議な話を聞いた。全く音のない空間に入れられた人間は、聞こえない音を聞くのだそうだ。それは人間の脳が作り出した音で、線毛の擦れ合う音だという。雨の音にもリズムがあり、差し込む光にもメロディーが流れる。

アカデミア・ラボの大きく曲線に開いたガラス窓は、プリズムのように光を屈折させてハーモニーを奏でる。通りをゆく車列は、まるで自動演奏機の音符のように流れていく。夕闇ともなれば、ヘッドライトが光の渦となって、静謐な空間に漂う。教科書をめくる音も、鉛筆を走らす音も、その空間を暖かく満たす。高尚な空間に揺蕩う知の実験場は、まぎれもなく作新学院の知の象徴としての響きを放っている。電波は、受信機でとらえて初めて音として存在する。時も場所も越えて、創立以来の学院の精神が奏でる音を、そこに学んだ者たちが、一人ひとりダイアルを合わせて感じ取ることで、同窓生としての絆が深められる。

道路に黄金の葉が降り積もる季節となりました。今年もまた、部活の朝練の掛け声の中で、落ち葉を掃く竹箒の音と生徒たちの笑い声が聞こえます。卒業生の皆さんたちも嘗て耳慣れた音に違いないと思います。その音を、心の奥で思い出せば、学生時代のあの頃の姿が浮かぶのではないのでしょうか。単なる音ですが、世代を繋ぐ大事な大事な音なのです。同窓生の皆さん、どうかキャンパスの好きだった場所に立って耳を澄ませてみてください。包み込まれるような音の響きが待っています。

### 学院近景



# 同窓生紹介

## さまざまな分野で活躍する同窓生！



### 石の町を遺す

大谷資料館館長 大久保恵一  
(硬式野球部OB会相談役) (昭和42年卒)

私は、昭和42年に卒業しました大久保恵一です。作新学院では親子3代で硬式野球部に在籍。孫の代で、念願の春夏甲子園と神宮大会にも出場する事ができ誇りに思います。

宇都宮市大谷町。この町は「大谷石」と言われる石を全国に出荷し、栄えた町です。建材としての石の人氣は高く、採掘には人手もいることから、全国からたくさんの人々が働きに集まりました。

朝から晩までの地下での作業。つるはしやのこぎりなどで地下にある石を切り出します。ひとつの石を切り出すのに、つるはしを振るう回数は約4000回、石の重さは約70kg～140kg。それを背中に背負い、はしごや階段を使って地上へと運び出します。これを永遠と続けて、1人で1日約10本が採掘できます。

私は、大谷町で大谷石の採掘・加工販売と土木業を3代続けて経営しております。又、5年前より、巨大地下空間、採石場跡地の大谷資料館を引き継ぐ事になりました。東日本大震災後という事や、これからの天災の影響や維持費を考えると、この施設を運営していくメリットは少ないと反対する人が多かったです。しかし、私としては、何としても大谷町全体の活気を取り戻し、この素晴らしい大谷石という産物をもっともっと知ってもらいたいとの思いで決心しました。

おかげ様でメディアにも取り上げて頂き、コンサートや映画のロケ地としても使われております。最近では、食事処やカフェも出店されつつあり賑わいをみせております。大谷石が日本遺産にも選ばれ嬉しい限りです。

これからも作新学院OBとしてまた、故 山本理先生が日頃から言われていた「作新であるプライドをもて」という言葉を忘れずにバックアップして行きたいと思えます。



### 豪華客船と和菓子

高林堂社長 和氣康匡  
(平成12年卒)

日本へ着いたクイーンエリザベス号に4000個を超える和菓子を納品致しました。和菓子初乗船とのことで、大変光栄に思います。

船内の客室に置く菓子や、キュナード社オリジナルの「お土産ボックス」、和のアフタヌーンティ、バーで提供する日本酒×和菓子、上生菓子ワークショップとパフォーマンス等、持ちかけられる企画は多岐に渡るものでした。

商品の提案から決定までにはイギリス日本間で何度も話し合い、非常にパワーがかかりましたが、それも全て、キュナード社の「Our Customer」を大切にす姿勢を強く感じました。

乗船客の多くが欧米人であるようで、選択される和菓子の多くが見た目は日本らしく、味は少し洋風なものも多くリクエストされました。

私も乗船し、上生菓子パフォーマンス、ワークショップ、和のアフタヌーンティと様々なことをさせていただきました。

2年ほど前から、海外での催事やパフォーマンスをしておりますが、これに何の意味があるのだろうか？と思われるかもしれません。和菓子の美味しさ、美しさを発信したい思いは当然のことながら、それ以上に「和菓子職人」という仕事が日本の子供たちの憧れになってほしい、という気持ちが強くあります。この仕事は古くを伝承しながら新たな価値を生み出していく、素晴らしい仕事だと思います。私はとてもやり甲斐があると感じています。現実には人口減少による市場の縮小、人手不足、小豆の価格高騰、日々頭を悩ませることだらけです。それでも和菓子屋に、和菓子職人に明るい未来があることを信じて、可能な限り活動していきたいと思えます。

作新学院 親交会

会長 荒井 祥

宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

作新学院高等学校 P・T・A

会長 片柳 二郎

宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811



作新学院高等学校同窓会

## 平成30年度 定時総会

総務企画部副部長 古谷 祥一 (昭和58年・35回卒)

平成30年度作新学院同窓会定時総会は、6月8日ホテルニューイタヤで、船田元学院長・作新大学渡辺学長・新たに衆議院議員となられた佐藤明男議員・吉羽茂県議会議員・各市議会議員等多くのご来賓のご臨席のもと、約80人の同窓生が参加し開催されました。

総会では、吉高神渡副会長(昭和45年卒)の開会宣言の後、会場に掲げられた「作新学院旗」のもと、全員で校歌を斉唱しました。安藤寛樹会長(昭和45年卒)の主催者あいさつでは、作新学院創立130周年記念事業として構想から4年をかけて完成した、斬新なデザインと機能を備えた新しい教育施設「アカデミア・ラボ」の完成の喜びを伝えました。在校生の活躍では、硬式野球部の「全員で深紅の優勝旗を返還する」ことを目標に、見事7年連続で甲子園出場という偉業の達成と、ボクシング部の全階級制覇の達成等、その活躍と指導監督の先生方にエールを送りました。また、数々の同窓会事業を通じて作新の門をくぐった卒業生が、「一校一家」の精神のもと学院と同窓会の絆を大切に、お互い助け合い協力し合い地域社会に貢献することが同窓会の大きな使命であると締めくくりました。

来賓として出席された船田元学院長の祝辞では、今年の卒業生の進学について、初の現役東京大学合格を含めた3名の合格、7名の東北大学合格など国公立・難関私大への多数の合格実績と、教育方針「自学自習」の根底にある建学の精神「作新民」が実現された結果としての

母校の輝かしい進学実績をご披露されました。また、自学自習という教育方針を実現していくには、同窓会やPTA地域社会の協力なくして達成できないとし、特に同窓会と作新学院は、お互いに協力しあって、がんばっていきましょうと祝辞を締めくくられました。

議事は、青年部の山形哲也(平成10年卒)さん、小林大介(平成12年卒)さんを議長団に選出し審議に入りました。

- 
- 第1号議案・平成29年度事業報告並びに決算について
  - ・平成29年度基本特別会計報告について
  - 第2号議案・平成30年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
  - 第3号議案・平成30年・31年度役員の改選について
- 

第1号～第3号議案まで慎重審議の結果、原案通り承認され、新体制の同窓会役員の紹介とあいさつした後、小牧 英夫副会長(昭和56年卒)の閉会のことばで、定時総会は無事終了しました。

総会終了後、「第48回衆議院議員総選挙」に於いて見事12回目の当選を果たされ、国政に於いて憲法改正に向け中心的にご尽力されている船田元作新学院長に「特別講話」をお願いし、憲法改正の必要性・問題点等についてご講義を頂き、終了後懇親会へと移って行きました。



(株)安藤設計(一級建築士事務所)

<http://ando-sekkei.jp/>

代表取締役会長 安藤 英夫(昭和43年卒)  
 代表取締役社長 安藤 寛樹(昭和45年卒)  
 取締役総務部長 安藤 篤史(平成9年卒)  
 宇都宮市山本1-3-14 ☎028-625-2875

1952年創業 あなたの街の「ぜいりし」さん  
尾花税務会計事務所

〒322-0029 鹿沼市西茂呂3-19-2

ご相談専用ダイヤル ハロー オバナ  
0120-806-087

## 作新学院高等学校同窓会

## 第44回 新年会・新成人祝賀会の開催

事務局長 天野辰美(昭和45年卒)

同窓会では、平成30年1月6日(土)「作新学院高等学校同窓会 第44回 新年会・新成人祝賀会」を、宇都宮市内のホテルニューイタヤに於いて開催いたしました。参加者は、394人の新成人とご来賓・教職員の皆さま・同窓生など500人となり盛大な祝賀会となりました。吉高神同窓会副会長の「開会の言葉」に続き、卒業生であることの誇らしさと、それぞれの青春の思い出を胸に「作新学院歌」を全員で斉唱しました。安藤寛樹会長の主催者あいさつの後、新成人者代表 長岡鼓太郎さん、吉上葵さんに安藤会長・福田副会長から花束の贈呈を行いました。

作新学院 船田元学院長の来賓祝辞では、作新学院が掲げる文武両道社会貢献の三本柱の中で、在校生の部活動が全国大会にコマを進め活躍している実績や、卒業生の萩野公介選手・ボクシングの吉野修一郎選手などが世界レベルで活躍する姿とその努力と難関に立ち向かう決して諦めない不屈の精神を讃え、社会の荒波に船出する新成人にエールを送りました。また、創立130周年記念として建てられた「アカデミア・ラボ」の完成と、建学の精神「作新民」を一層進展させる生徒参加型の能動的な教育活動等施設を活用し最先端の教育を構築していく方針が示されました。

新年会・新成人祝賀会後の懇親会では、はじめに「アカデミア・ラボ」の建築から完成後の内部構造を紹介するDVD放映され、会場にはS字を模った斬新で未来型の建物とその運用形態が流れると、作新学院の新たなシンボルの完成に、改めて皆で喜びを分かち合いました。続いてアトラクションとして定番になったプロの卒業生ダンスチーム「BALM(バルム)」のパフォーマンスで会場は大いに盛り上がり、平成28年卒業の新成人者と、学院を巣立っていった教え子たちのさらに成長した姿を見ようとご参加頂きました30人を超える担任の先生や教職員の皆さんを中心に、次々に壇上で写真撮影が行われるなど、再会を喜び合う輪が広がり、盛況のうちに祝賀会はお開きとなりました。



手塚・吉高神司法書士事務所

司法書士 吉高神渡(昭和45年卒)

宇都宮市小幡2-6-10 ☎028-627-0521

電気工事・通信工事・設計施工

中央電機通信株式会社

代表取締役 設楽厚夫(昭和47年卒)

宇都宮市中戸祭1丁目9番12号 TEL 028-622-9331



## 「作新祭」に参加して

文化厚生部副部長 小野 朋之(昭和61年卒)

同窓会は文化厚生部を中心に、平成30年9月7日(金)～8日(土)「大想(おも)いをつに、革人(かくじん)の華」というテーマのもと開催された、創立133周年記念「作新祭」に参加しました。事前会議において参加者や来訪者に喜ばれ、なお且つ生徒たちの企画と競合しない商品をという方針で、同窓会売店定番の「餃子」のほか、新たに「フランクフルト」「揚げ餅」を加えましたが、行列が絶えないほどの好評を得ました。校庭には生徒達によって60近くのそれぞれに工夫を凝らした模擬店が出店され、会場内特設ステージでは、タレントの吉澤夏子さんを招いたイベントなど、生徒たちの手で自主運営されたエネルギッシュなイベントが、次々に開催され、いつしか参加した私たちの心も、この校庭を走り回っていた「青春のあの日に」帰っておりました。「一

校一家」の旗印のもと、間もなく同窓会会員とする在校生と、同じ日差しの下で同じ思いが共有できたことに、無上の喜びを感じた二日間となりました。



## 作新学院高等学校『第5回 若手異業種交流会』



若手異業種交流会 益子 和大(平成6年卒)

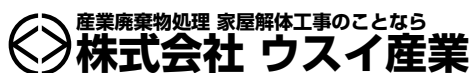
平成30年9月30日(土)ホテル丸治において、ご来賓として母校の作新学院から学院長 船田元先生にご出席を頂き「第5回若手異業種交流会」を開催致しました。

学院歌斉唱の後、安藤同窓会長の主催者あいさつ、船田学院長の来賓祝辞の後、世話人会を代表して 本澤 崇 実行委員長(平成2年卒)より異業種交流会の趣旨説明が行われました。

若手異業種交流会は、作新学院高等学校同窓会の活動の一環として、活動の若返りを図り、若い人たちの交流や活動の幅を広げていくために、青年部を中心に世話人会を発足させ、第1回の交流会を平成25年6月に開催しております。

作新学院高等学校の同窓生は約12万人を越え、県内外、各分野、各業種のなかでそれぞれに活躍をされております。また、母校作新学院高等学校は少子化の流れのなか「日本一のマンモス校」として、毎年1,000人を超える卒業生が同窓会の仲間入りをしております。その受け皿としてしっかりとした基盤を同窓会の中につけていく事が、私達の使命であると考えています。

私は、今回はじめてこの会の総合司会を仰せつかりましたが、微力ながら様々な形で今後とも同窓会先輩諸氏から「一校一家」の精神の目指すところを、異業種交流会を立ち上げた目的とを、しっかりと受け継いで次の世代に繋げていきたいと思っております。



産業廃棄物処理 家屋解体工事のことなら  
**株式会社 ウスイ産業**  
代表取締役 白井伸太郎(平成5年卒)  
栃木県宇都宮市北若松原2-11-7 TEL 0285-56-8720

## 株式会社コスモ鋼業

代表取締役 遠藤 盛(昭和58年卒)  
宇都宮市西刑部町2604 ☎028-656-7330  
s-endo@cosmo-kogyo.co.jp

## 東京作新会の活動

東京作新会会長 君島孝夫 (昭和40年卒)

作新学院同窓会の皆様、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

東京作新会総会には同窓会幹事長・鈴木 勲様と事務局長の天野辰美様にご参加いただきありがとうございました。新たにご参加頂きました大淵澄夫様、柿沼秀毅様、関口佐敬様、島田裕司様ありがとうございました。これからも同窓会員との親睦を深めて頂きたいと思っております。今年も若い同窓会員が参加されるとのことで楽しみです。

平成30年9月6日早朝に起きた北海道胆振東部地震は、隣町でしたので大変ビックリ致しました。前日台風21号の強風により、市内いたるところで起きた倒木処理作業が終わらない中で地震でした。私が住んでいる夕張市でも学校の体育館や市役所の議事堂天井が、一部落下するなど被害がありました。2日間のブラックアウトによる停電がありました。幸い飲料水(水道)は守ることが出来ました。災害に遭われた皆様には、お見舞い申し上げます。

さて 作新学院の教育方針であります《文、武、社会貢献》特に自然災害など人のため地域のために

率先して活躍できる社会貢献教育には、感謝と期待を致しております。何時も母校作新学院を誇りに思いながら過ごしております。

東京近郊の作新学院高等学校卒業生の方々の入会を、世話人一同お待ちしております。



東京作新会	世話人	
連絡先	君島孝夫	☎0123-57-7811
	鶴巻克雄	☎0424-21-0177
	相場啓介	☎03-5453-1616
	北村文子	☎03-3918-9904
	海藤政子	☎03-3392-7032
	落合明子	☎048-269-2020

## 作新学院「二里山会」について

二里山会会長 高橋光男 (昭和54年卒)



作新学院「二里山会」は、作新学院を卒業した後、再び母校に戻って勤務する教職員の親睦団体です。作新学院の前身である下野英学校が県庁東側の二里山(現在の栃木県立図書館付近)に所在していたことに由来し名付けられました。

平成30年度の会員数は、幼稚園から大学短大まで合わせて146名。今年度は高等学校に3名、幼稚園に1名の新会員が加わりました。卒業して再び母校に教職員として奉職してくれたことを大変嬉しく思います。

主な活動としては、年1回開催の「総会」と、

ご退職された方の送別会および新加入会員の歓迎会を兼ねた「懇親会」の開催があげられます。今年度は、7月23日(月)に学内で総会が行われ、同日夜には宇都宮市内で懇親会が開催されました。ご多忙中にもかかわらず、学院長先生や同窓会幹部の皆様のご臨席を賜り、和やかな雰囲気のもと、楽しいひとときを過ごすことができました。普段は他の設置校の方々と親睦を図ることが少ないなかで、二里山会での交流はとても貴重な機会といえます。

作新学院教職員の約3分の1に相当する私たち二里山会員は、母校の教壇に立つ者としての責任を胸に、相互の連携を深めながら学院ならびに同窓会の更なる発展に少しでも貢献できればと考えております。

### Beams 高精細印刷 伴印刷株式会社

取締役会長 伴 清 (昭和35年卒)  
 代表取締役 伴 誠 (昭和62年卒)  
 生産管理部長 伴 康行 (平成7年卒)  
 宇都宮市栄町6-10 ☎028-622-8901 FAX 028-622-4525

### HOTEL NEW ITAYA

<http://www.newitaya.com/>  
 植田 昌弘 (昭和56年卒) 高橋由起子 (平成19年卒)  
 福田 吉信 (平成6年卒) 白石 希 (平成20年卒)  
 宇都宮市大通り2-4-6 TEL 028-635-5511



## 同窓会恒例視察・研修旅行

## 秋の江の島・鎌倉の旅

文化厚生部長 遠藤 盛(昭和58年卒)

今回の文化厚生部主催の研修旅行は、小学校の修学旅行の定番だった「秋の江の島・鎌倉」を選びました。12世紀末、源頼朝は源平の合戦で平氏を滅ぼし、鎌倉に幕府を開き、初の武士による政治がこの時から始まり、14世紀はじめまで鎌倉は政治、軍事、外交、文化などあらゆる面で日本の中心地となりました。

バスの中から江の島が見えてくると、幼かったあの頃の郷愁がよみがえり、タコせんべい・お団子・甘酒などを頬張りながら弁天橋仲見世通り歩き、途中から屋外エスカレーター「江の島エスカー」を乗り継いで(健脚の方は石段で)頂上を目指しました。日本三大弁才天が祀られている「江島神社」は、縁結びにご利益があり、恋愛成就のパワースポットとして多くの若者で賑わっていました。頂上には展望灯台「江の島シーキャンドル」があり、周囲や塔の中で記念撮影を行いました。

この研修旅行には、ロータリークラブ米山記念奨学会の支援でラオスから宇都宮大学大学院に留学し、情報工

学・情報システムを勉強しているチョンセンチャン カムニーサイ君が、彼のカウンセラーとして支援している吉高神同窓会副会長の同伴者として特別参加を致しました。カムニーサイ君の育った村には小学校が1年までしか無く、その後は徒歩で4時間かかる町の学校へ編入になり、通学が無理なので月曜日から金曜日までの間は町に泊まって学校に通っていたそうです。また、町に泊まるところがない学生は、1年で勉強をやめることになったそうです。そんな中、ラオスには日本人の建てた学校が多く、彼の学校にも日本の国旗と日本の国を説明した掲示物が貼ってあり、無償でラオスに多くの学校を建ててくれている日本という国に興味を持ち、留学先としたとのことでした。

自由散策の後、集合場所となった鶴岡八幡宮では古式ゆかしく結婚式が執り行われており、少しその幸せを分けて頂いた気分のなか、全員で記念写真を撮り帰路宇都宮に向け出発しました。



## イマイズミ (宝石・貴金属)

リフォーム・修理もご相談下さい。 今泉貴金属 検索

代表取締役会長 今泉 臣夫(昭和37年卒)

宇都宮市仲町1-13 ☎028-622-3573

## 北都電工株式会社

代表取締役 会長 荒井 健次

取締役 社長 荒井 博幸(平成2年卒)

宇都宮市上野町6076番地15 TEL 028-662-1542 FAX 028-663-4112

## (有)坂本商店(業務用青果・漬物製造卸)

代表取締役 坂本 昭(昭和31年卒)

宇都宮市京町3-4 ☎028-633-4003

FAX 028-632-9148

## 太平産業開発(株)(太陽光発電事業)

代表取締役 熊倉 正敏(昭和35年卒)

宇都宮市上小倉町2616-1 ☎028-624-2156

## 第3回 親睦ゴルフコンペの開催について

広報部副部長 中島 一晴 (平成5年卒)

平成30年10月19日(金) 広報部主催により、「第3回親睦ゴルフコンペ」を日光市高徳の鬼怒川カントリークラブにて開催しました。秋の天候が日々変わる中、当日早朝は降雨もあり開催も心配されましたが、スタート前には雨も上がり天候にも恵まれ、安藤寛樹会長をはじめとして総勢35名の同窓生が参加し、日頃のゴルフの腕前を競い合いました。

プレー終了後、同会場にて表彰式を兼ねた懇親会を開催しました。パーティーでは、安藤寛樹会長の開会のごあいさつから始まり、表彰式では入賞者にはその成績をたたえ、たくさんの豪華賞品が授与されました。

腕に自信のある方はもちろん、ゴルフが得意でない方も気軽に参加でき、先輩や後輩、同級生と同じ作新学院同窓生として交流を深めることができます。次回は更に参加者を増やして開催したいと思いますので、たくさんの作新学院同窓生の友人知人をお誘いあわせのうえ、ご参加をお願いしたいと思います。

### 結果

- 優勝：本澤 崇 さん (平成2年卒)
- 2位：宇賀神真一 さん (昭和57年卒)
- 3位：小林 基 さん (昭和48年卒)
- ベストスコア：本澤 崇 さん スコアー83



## 第2回 バーベキュー大会の開催

同窓会青年部 石川 嵩文 (平成15年卒)

平成30年12月15日(土)、同窓会青年部主催「第2回バーベキュー大会」が開催されました。気持ちのよい冬晴れの一日、同窓生やその家族など50名ほどが集いました。今回2回目となるこの企画は広く作新同窓生全体の交流を図ることを目的としたものであり、同窓生同士の交流はもちろんのこと、その家族や子どもたちも参加し、まさに「一校一家」の校風を感じさせる行事となっています。

当日は焼き網に和牛や野菜が次々と乗せられ、また、寒さ厳しい冬ならではの温かい豚汁・カレー・カニしゃぶも振舞われ、皆の箸もおしゃべりも止まることなく楽しい時間を過ごすことが出来ました。そして今回の目玉であるメインの牛ヒレ肉の一本焼きには、焼き網からはみ出さんばかりの肉の迫力に、大人も子どもも大歓声。思わず写真を撮る同窓生の姿もありました。希少部位であるシャトーブリアンのお味も最高級、会場の雰囲気も大変な盛り上がりを見せました。

職場や日常を離れ、同窓生として共に語り合う時間は何物にも代えがたいものであることを改めて感じました。つい、仕事にばかり没入してしまう日々ですが、こうして異なる世界で生きる者同士が集まることにより、また新たな刺激が得られます。それが『一校一家』の温かさであり互いを思いやってきた作新生であると再認識することができました。

これからも同窓生の交流の場として継続し続けたいと思っておりますので同窓生の皆様のご参加をお待ちしております。



**宇賀神工業 株式会社**  
 代表取締役 宇賀神 真一 (昭和57年卒)  
 鹿沼市千渡1605-88 ☎0289-64-4141  
 ugajins1@ninus.ocn.ne.jp

(総合建設業)  
**中村土建株式会社**  
 代表取締役社長 渡邊 幸雄 (平成4年卒)  
 宇都宮市大曾4-10-19 tel028-622-6581



## 第5回 部活動OB・OG会の開催

組織財政部長 櫻井 英治 (昭和57年卒)



平成25年4月、作新学院高等学校同窓会活動の一環として、「部活動OB・OG会」の各種集まりを支援しながら、在校中に様々な部活動

に所属していたOB・OGの卒業生と連携を密にし、さらなる選手・生徒たちの躍進を応援する」目的で発足した「部活動OB・OG会」も、今年で6年目を迎えました。

平成30年11月30日(土)第5回部活動OB・OG会が、来賓として船田元作新学院長、塩野谷副院長、高橋総合進学部長、金田情報科学部長、渡辺トップ英進部副部長、吉羽茂県議会議員(ラグビー部元顧問・同部OB)、黒子英明宇都宮市議会議員(自転車競技部OB)をお迎えして、ホテルニューイタヤにおいて盛大に開催されました。安藤同窓会会長の主催者挨拶では、全国大会での各部活の活躍に敬意を表するとともに、この会の発足の経緯に触れ、更

にその目的に向かって「一校一家」の精神で、オリンピック・栃木国体に向け団結を図っていきましようと呼びかけました。

顧問の先生方は、岩嶋硬式野球部顧問、渡邊バスケットボール部顧問、堀江ラグビー部顧問、前田体操部顧問、山本自転車競技部顧問、川島ボクシング部顧問、宮内応援団顧問に、授業や部活動指導等お忙しい中ご出席を頂き、各部活のOB・OGと意見交換をおこないながら、更に親睦を深めていきました。

各部活動の活動報告では、2020年の東京オリンピック、2022年本県で開催される国民体育大会に「作新の風」を吹きおこすと、力強い報告が相次ぎました。

部活動OBとして、本当に嬉しく思う平成30年の各部活動の輝かしい活躍につきましては、本誌17頁から19頁をご参照していただき割愛致しますが、部活動OB・OGの皆様、熱く燃えた青春時代の「夢」を現役選手・生徒諸君に託すため、これからも「一致団結」していきましょう。

## 第15回 女子同窓会の開催

女子同窓会幹事 寺内利恵 (昭和57年卒)

9月29日(土)に第15回作新学院高等学校女子同窓会を宇都宮市の丸治ホテルにて開催いたしました。



隔年で行われていますから今年は丁度30年目になります。県内は勿論、県外からこの日のために盛装でいらっしゃる女子同窓生の皆様の数は100人を超えます。

この会は故船田小常先生の提案で始められたと伺っています。残念ながら、出席して下さる方が回を重ねるごとに減少しており今回は100人を越えることはできませんでした。第1回卒業生は作新

高等学校の前身であります作新館高等女学校卒で90歳になられます。皆様大変お元気で若々しくご年齢を感じさせない方々ばかりです。

今年は来賓に学院長の船田元先生、同窓会会長安藤寛樹様、トップ英進部・英進部副部長渡辺毅先生、同窓会から大淵皓之前会長様、天野辰美様をお招きしました。船田先生と安藤様にはご挨拶もいただきました。

会の合間にはピアノとフルートの演奏もあり終始和やかに女子会を楽しめました。前回までは副会長の鈴木勲様が所属するハワイアンバンドが楽しませて下さいました。

次回2年後には次世代のたくさんの同窓生が参加できますよう願ってやみません。

### 小林建築設計事務所(一級建築士事務所)

代表 小林 基 (昭和48年卒)

宇都宮市宝木町2-944-13 ☎028-652-1770  
m-koba@moon.ucatv.ne.jp

### 仲田総業株式会社

<http://www.nakada.tv>

代表取締役社長 仲田陽介 (平成3年卒)  
宇都宮市築瀬町2520-4 ☎028-635-2151

### (株)山登塗装工業(建築・塗装・吹付工事)



取締役会長 酒井康雄 (昭和43年卒)  
代表取締役 酒井宏泰 (平成8年卒)

宇都宮市砥上町247-4 TEL 028-648-3116

### (有)川口写真館

代表取締役 川口修一 (昭和44年卒)

宇都宮市北一の沢21-19 ☎028-622-4641

# ボクシング部 OB・OG会 活動

同窓会副会長  
小牧 英夫 (昭和56年卒)

20年ぶりに、作新学院高等学校ボクシング部が、平成30年8月に岐阜市で開催した、全国高校総体(インターハイ)において、学校対抗で全国制覇を果たし日本一の栄冠を勝ち取り、個人戦でも優勝1名、準優勝2名と輝かしい成績を治めたボクシング部をOB・OG会が主催をして、10月27日(土)ホテルニューイタヤにて、御来賓、川島八郎御夫妻、川島弘行監督御家族、選手、保護者、OB・OG会の総勢88名の出席者で盛大に祝賀会を執り行いました。OB会会長の小松毅史(56年卒)より挨拶で始まり、学院長船田元様(栃木県ボクシング連盟会長)、衆議院議員佐藤明男様(45年卒)、同窓会会長の安藤寛樹様(45年卒)の御来賓3名による、お祝辞の言葉を頂きました。又、先輩のバルセロナオリンピックライトミドル級日本代表の川上雅史さん(H2年卒)又、プロのリングで活躍中の日本

ライト級チャンピオン吉野修一郎さん(H22年卒)や沢山の先輩の話しに、生徒たちも、真剣な眼差しで聞いている姿を見てまさに一校一家!ボクシング部のさらなる活躍、又、OB・OG会の強固な結束をしていく事を確認しました。最後に、川島八郎会長(同窓会部活動OB・OG会会長)と共に同窓会活動を頑張ります。



## 作新経済同友会の活動

作新経済同友会 須藤 宏明(平成7年卒)

作新経済同友会は同窓会で役員を歴任した方々が中心となって活動しております。同窓会と関係を取り業種の異なる会員により幅広い交流を通して相互の親睦と経済的な地位等の向上を目指し、毎月一回の定例会を開催しております。

定例会では昨今の政治経済の話や、外部講師を招いての勉強会など、多くの話題を取り上げています。

今年は、母校の所在地である宇都宮市の今後の在り方に大きく影響のある軸基幹公共交通LRT(ライトレールトランジット)の話や、市の広報課の方を招き、現在の計画や今後の構想などをお聞きし、将来の宇都宮市について多彩な意見交換が為されました。

また、毎年行っている視察研修旅行では、日本航空(株)JALメンテナンスセンターで旅客機の整備を見学しました。我が栃木県には残念ながら民間飛行場は有りませんが、しかし、日本でも有数の大空港である羽田・成田空港が昔から有



りますし、それ以外にも隣県の茨城県、福島県に空港があり、共に高速道路でのアクセスが便利な為、利用されたことのある方も多くではないでしょうか。一昔前は、飛行機に乗って行くのは海外に行く時ぐらいだったのではないのでしょうか?今ではプライベート・ビジネス共に国内の移動でも気軽に使うようになり、身近な乗り物になっております。そんな空の旅を正確、安全、安心して利用出来るよう日々旅客機のメンテナンスをしている整備場をコーディネーターの方から、詳しい話を聞きながら見学させて頂きました。改めて航空機とは緻密な構造物であり、高い技術力の産物であるという事を実感しました。この高い技術力を維持、発展していく為にはやはり高い教育が必要になるとの思いが強くなった次第です。この整備場見学はTVでも紹介された事もあり、予約制になっており、現在は半年待ちとのことですが、貴重な体験をする事が出来ます。一般の方や子連れのご家族、子供の団体など多くの方々が来ておりました。

ご興味ある方はいかがでしょうか?

この様に作新経済同友会は、毎回新しい情報や経験を得ることのできる場となっております。一人でも多くの皆様のご参加をお待ちしております。



株式会社 帝都 (葬祭業)

代表取締役 秋葉 秀樹 (平成5年卒)

那須塩原市豊町13-9 ☎0287-62-3131

株式会社



企画装飾

代表取締役会長 関 正三 (昭和24年卒)

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地38-32

TEL 028-662-6551(代) FAX 028-663-3579



今年成人を迎えられる卒業生

英進部

ご成人おめでとうございます。

名実ともに大人への仲間入りを果たし、新たな人生への第一歩を踏み出された新成人の皆様に、心からお祝いを申し上げます。また、いかなる時もお子様に対して愛情を持って接し、その成長を見守り続けたご家族の方々に、ご祝詞を申し上げます。

新成人の皆様が、かつて英進部において、作新祭や合唱祭、英進ウォーキングや修学旅行といった様々な学校行事を通し、友人や教師との絆を育むとともに、「受験は団体戦」を合言葉に切磋琢磨した結果、進路志望の実現を果たしたことを振り返ると、今でも心が熱くなります。

これから皆様が生きていく未来には、希望だけではなく、多くの困難が待ち受けています。グローバル化が進展する中で緊迫の一途をたどる国際情勢や目まぐるしく変化する国際経済、そして国内では少子・高齢化に伴う人口減少社会など、枚挙に暇がありません。こうした課題を解決していくためには、皆様方の情熱や感性、英知や先見性を備えた行動力が何よりも必要です。母校作新学院で学んだ力を生かし、どうか困難に挫けることなく、自分らしく歩み続けて下さい。

平成28年度 英進部 第3学年主任 松本洋行



平成28年度卒業時の第3学年担任の先生方

うつのみや  
名物 野菜タップリ! グルメも納得!  
新三の薄皮餃子  
『割烹弁当』の新三  
代表取締役 鈴木郁夫 (昭和24年卒)  
宇都宮市今泉3-12-30 ☎028-622-8337

(総合建設業)  
株式会社 新生工業  
代表取締役 櫻井 英治 (昭和57年卒)  
宇都宮市徳次郎町46 ☎028-665-1502

今年成人を迎えられる卒業生



# ご成人おめでとうございます。



新成人の皆さま、ご成人おめでとうございます。そして、皆さまを今日まで愛情を込めて育ててこられました

ご家族の皆さまに敬意を表するとともに、お慶びを申し上げます。

皆さまの卒業された平成28年度は、作新学院にとって忘れることのできない硬式野球部の54年ぶり二度目の甲子園優勝、卒業生萩野公介さんのオリンピックでの金メダル獲得がありました。果敢に挑戦する在校生、卒業生の姿に感動の連続でした。

昨今“人生100年時代”と言われ、これから先、長い人生を歩んでいくこととなりますが、現状に満足せず、積極的に挑戦する心を忘れず持ち続けてほしいと思います。若いうちにしか出来ないことに積極的にチャレンジし、挑戦と失敗の積み重ねを繰り返すことで、自己形成するかけがえのない財産を築いてください。

「成人」という人生の節目の年を迎えられた皆さまの輝かしい前途を祝すとともに、益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

平成28年度 総合進学部 第3学年主任 高橋 史朗



平成28年度卒業時の第3学年担任の先生方

## 日建工業株式会社

代表取締役 吉川 泰行 (平成2年卒)  
 宇都宮市岩曾町179-4 ☎ 028-625-5021  
 FAX 028-625-7523  
 E-mail : yasuyuki@nikken-kogyo.jp

## (有)朋友塗装工業(建築・塗装・吹付工事)

代表取締役 小野 朋之 (昭和61年卒)  
 宇都宮市峰3-31-30 TEL 028-634-7082  
 FAX 028-639-7220



今年成人を迎えられる卒業生



# ご成人おめでとうございます。

作新学院を巣立った皆さん、「晴れての成人の儀」誠におめでとうございます。

また、今日まで深い愛情を注がれながら、大切に育ててこられたご家族の方々へ心よりお祝いを申し上げます。

感動の卒業式からもう2年間も時間が過ぎてしまいました。「光陰矢の如し」と申しますが、あらためて卒業アルバムを見直してみると、懐かしい顔が思い出されます。

年齢を重ねるだけで大人になれるとは限りません。作新学院で得た経験を活かして、自分自身を律しながら他に寛容に接することができる、「素敵な大人」としてデビューされることを願っています。

平成28年度 英進部 第3学年主任 長岡 正



平成28年度卒業時の第3学年担任の先生方



(総合建設業)

**末長建設株式会社**

代表取締役 末長 修一 (昭和57年卒)

宇都宮市中央本町4-21 TEL 028-634-6675

**(株)本澤建築設計事務所**<http://www.honzawa-net.co.jp/>

代表取締役 本澤 崇 (平成2年卒)

専務取締役 本澤 淳 (平成5年卒)

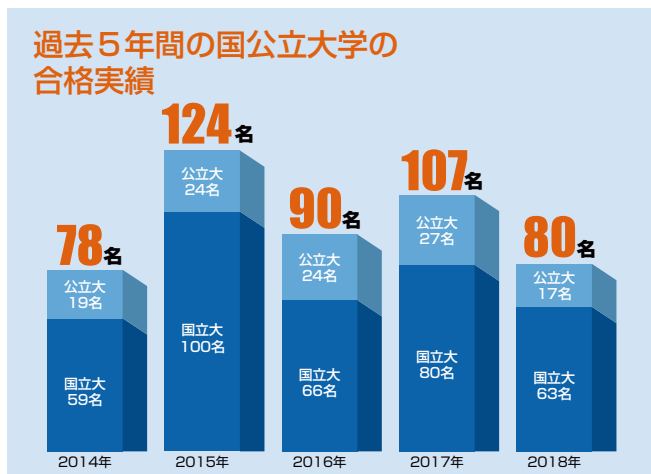
宇都宮市川田町1223-27 ☎028-645-0607

# 昨年度の進路状況

**東京大学3名 理科I類 現役合格・文科II類 現役合格・文科III類 合格**

～ 東北7・神戸・横浜国立・千葉・新潟6など国公立大学に80名  
 慶應・早稲田・上智・東京理科・MARCHレベル以上の難関私大に69名が合格!! ～  
 宇大に14名・茨城大に5名合格 医学部医学科に4名が合格

平成29年度の卒業生1,028人の進路の内訳は、4年制大学に469人、短期大学に44人、専門学校（予備校を含む）に278人が進学し、就職・その他は237人であった。進路の割合は、大学や専門学校への進学は76.9%、就職・その他は23.1%であった。



平成30年度入試の国公立大学合格者は、80人（国立大学63人＜うち現役52人＞、公立大学17人＜うち現役15人＞）であった。主な合格大学としては、東京大学3名・東北大7・神戸1・横浜国立1・東京藝術大1・電気通信大1・千葉大1・新潟大6・静岡大1・茨城大5・群馬大1・山形大2・首都大東京2・高崎経済大3などが挙げられる。このうち、東京大学は、理科I類現役合格・文科II類現役合格・文科III類合格であった。東北大は、経済学部4人、理学部1人、工学部1人、農学部1人がいずれも現役合格を果たした。地元の宇都宮大には、教育学部2人・地域デザイン科学部4人・工学部8人の計14人が合格を果たした。

一方、私立大学における主な合格大学としては、慶応大4・早稲田大7・上智大2・東京理科大14・立教大4・明治大8・青山学院大4・中央大10・法政大13・同志社大2・立命館大1・芝浦工業大8・明治学院大5・日本大32・東洋大23・駒澤大4・専修大7・獨協医科大（医）2・岩手医科大（医）2・麻布大（獣医）1・日本大（獣医）1・岡山理科大（獣医）1・日本歯科大（歯）1・明海大（歯）1・鶴見大（歯）2・城西大（薬）2・国際医療福祉大（薬）4などが挙げられる。

専門学校への進学は、「地元志向」が強く進学者の8割が県内の専門学校である。調理、服飾系、医療系（看

護・歯科衛生・理学療法）、自動車整備、美容系などに進学した。医療系は4年制大学から変更した生徒が多くみられるのが特徴である。また、ペットなどの動物に関わる分野、外国語など語学分野に進学する生徒が増えている。専門的に学ぶことで、将来活かせる資格を取得することを目標に堅実な進路選択をしている。専門学校は多岐の分野があり、行きたい専門学校を選び未来を見据えた進路選択をし、合格を果たした。

就職に関しては、今年度求人企業数は1,994社であり、前年に比べ315社増加した。傾向としては、人手不足が深刻化する建設業・運輸業・製造業での求人が多く見られた。この3業種の最前線で活躍できる人材を期待して、高校生の“売り手市場”が続いていると考えられる。また、医療・福祉・自動車整備分野における深刻な人手不足もまだまだ続いている状況となっている。昨今、就職戦線では「コミュニケーション能力」「仕事に対する意欲」「十分な基礎学力」「面接での表現力」が求められる傾向にある。学院では学年ごとにキャリアガイダンス、インターンシップによる就業体験、人事担当者および関係機関（ハローワーク、労政事務所など）による「企業が求める人材、求められる人材」などの就職講話、外部講師による「ビジネスマナー」、卒業生による体験談など、多くのキャリア教育を実施している。このことによって、早い時期に昨年の内定率を上まわり、3月末には100%の内定率を達成することができた。

平成29年度卒業生 進路

部	進路		卒業生	4年制大学	延べ合格者	短期大学	専門学校 (予備校を含む)	就職 その他
	男	女						
ト ッ プ 英 進 部	男	132	95	302	0	32	4	
	女	104	82	249	5	14	4	
	総数	236	177	551	5	46	8	
総 進 学 部	男	210	144	301	0	43	23	
	女	158	72	158	22	51	13	
	総数	368	216	459	22	94	36	
情 報 科 学 部	男	252	49	98	0	81	121	
	女	172	27	55	17	57	72	
	総数	424	76	153	17	138	193	
総 計	男	594	288	701	0	156	148	
	女	434	181	462	44	122	89	
	総数	1028	469	1163	44	278	237	



運動部 spots

国民体育大会 福井しあわせ元気国体・インターハイなど  
各種競技で優秀な成績

第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」

<弓道(男子)>

熊倉 拓磨(総3) 鈴木 啓太(総3) 団体優勝

<水泳部(男子)>

遠藤 光(総3)[400m自由形] 第2位

<ボクシング部(男子)>

平塚駿之介(情1)[フライ級] 準優勝

加藤 千龍(情3)[ミドル級] 第3位

<バドミントン部(女子)>

佐川 智香(総3) 海老原香澄(総3)

輿石江里香(総3) 準優勝

<自転車競技>

田崎 隼翔(情2)[ケイリン] 第3位

<ゲートボール部(男子)>

福田 祥史(総3) 第3位

<ゴルフ部(男子)>

前田光史朗(総3) 豊田 龍生(総3)

池田 悠太(総2) 団体第4位

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)

<ボクシング部>

学校対抗 優勝

堀川 龍(情3)[ライトフライ級] 優勝

根本 元太(情3)[バンタム級] 準優勝

森本 浩(情3)[ライトウェルター級] 準優勝

平塚駿之介(情1)[フライ級] 第5位

<水泳競技部>

遠藤 光(総3)[1500m自由形] 優勝

<バドミントン部>

佐川 智香(総3) 準優勝

輿石江里香(総3) 第5位

佐川 智香(総3) 海老原香澄(総3) ダブルス 第5位

<自転車競技部>

川上 隆義(情3)[スプリント] 準優勝

川上 隆義(情3) 田崎 隼翔(情2)

中村 隆生(総3)[チームスプリント] 第6位

全国大会成績

<ゲートボール>

第23回全国ジュニアゲートボール大会 女子1部クラス 優勝

飯島 舞花(英3) 大島 果純(情2)

正村 陽(情2) 福島有紀乃(情2)

山川 彩奈(情2) 豊田 叶侑(総1)

<パワーリフティング>

第36回全日本高等学校パワーリフティング選手権大会

福地 倭大(情3)[男子93kg超級] 優勝

渡邊 憲(情3)[男子93kg級] 優勝

森田 愛己(総2)[女子84kg級] 第2位

金田 結衣(総2)[女子63kg級] 第4位

関東自動車(株)

塩田 和也 (昭和63年卒)

高梨 義久 (平成3年卒)

小島 英将 (平成13年卒)

宇都宮市築瀬4丁目25-5 ☎028-634-8131

総合建築資材商社

株式会社 白木屋

代表取締役 黒崎 裕康 (平成3年卒)

宇都宮市天神1-1-33 ☎028-633-3327

http://www.shiroki-ya.jp/ FAX 028-633-0792



福宮建設株式会社(総合建設業)

専務取締役 福田 裕 (平成4年卒)

宇都宮市鶴田町1462-1 TEL 028-648-7070 (代)



芳賀屋建設株式会社

代表取締役 関 明彦 (昭和61年卒)

宇都宮市築瀬4-12-28 TEL 028-638-2000

**ボクシング**

**○第72回全国高校総合体育大会(インターハイ)岐阜市**

・学校対抗：優勝 ・個人：優勝、準優勝2名

**○第73回国民体育大会 福井市**

・個人：準優勝、3位

今年度の全国大会では、インターハイで20年ぶり8回目の学校対抗優勝を果たしました。今年度は、全国での経験も少ないチームでした。そのため、例年以上に練習試合、合宿を組みましたが、それでも学校対抗優勝するような総合力はなかったため、総合優勝は考えもしていません。個人でチャンピオンができればいいと考えていました。しかし、大会3日目、キャプテンが全国チャンピオンで、日本代表の選手に打ち勝つとチーム全体の雰囲気が変わりました。全員が学校対抗優勝を目指し、負けた選手も精一杯応援・サポートをして、勝っている選手は負けた選手の分まで力を発揮し決勝戦に3名進出しました。1名優勝すれば優勝という中で、初陣の堀川が各上の相手に圧倒的力を見せつけ、念願だった全国優勝を果たすと同時に、学校対抗優勝を勝ち取りました。きっかけ1つで意識が変わり、それがチームに広がり、さらに大きな力を発揮させるなど、高校生の可能性の高さを強く感じました。また、応援に駆け付けてくれた多くのOBの方々、日ごろから支援してくれる学校や同窓会に恩返しできたことは大変うれしく思います。これから一層努力し、また応援されるような部にしていきたく思います。これからもよろしくお願いいたします。



**女子バドミントン部**

平成30年度全国高等学校総合体育大会場バドミントン競技大会 高松宮記念杯第69回全国高等学校バドミントン選手権大会が8月4日～9日まで静岡県浜松市浜松アリーナで開催されました。作新学院女子バドミントン部は学校対抗13年連続15回目の出場、ダブルス2組、

シングルス2名が出場しました。

学校対抗におきましては3回戦で敗退。(第9位)しかし、個人戦では過去最高の成績を取ることができました。

女子シングルスに於いて全日本ジュニア3位、全国選抜3位の佐川智香(総合進学部3年・茨城県石岡中)が持ち味のスピードを遺憾なく発揮して創部以来初のインターハイ決勝進出を果たします。結果は敗退しますが作新の名前を全国に知らしめた瞬間でした。ダブルスにおいてもパートナーの海老原香澄(総合進学部3年小山第二中)と準々決勝にコマを進めましたが惜しくも敗れ、第5位という結果でした。

もう一人、山梨県勝沼中出身の輿石江里香(総合進学部3年)は女子ダブルスに於いて2回戦で全日本ジュニア3位の大阪代表と対戦。激戦を演じますがファイナルゲーム20-22で敗れてしまいました。パートナーの杉村南美(総合進学部2年小山第二中)は2年生であり来年に期待させる内容でした。

シングルスも出場した輿石江里香は1回戦からすべてファイナルゲームを勝ち切りベスト8(第5位)という成績を取ることができました。

県外からの入学希望者が部員の半分を占めていますが志を持ち、門を叩いて入学してくれた生徒に感謝しかありません。今後の生徒たちに期待していただきたいと思えます。

国民体育大会に於いても作新学院単独チームで決勝に進出。埼玉県には敗れましたが準優勝という栃木県勢として40年ぶりの快挙を上げてくれました。杉村南美はメンバーではありませんでしたがスパーリングパートナーとして同行しチームを支えてくれたことには感謝しています。この経験を今後のチームに是非とも生かして欲しいと思います。

今後も全国での活躍を目指し精一杯努力していきたく思いますのでご支援のほどよろしくお願いいたします。(女子バドミントン部顧問 遠藤敦史)



**医療法人(社団)荒川歯科クリニック**

理事長 荒川 敏明 (昭和48年卒)  
宇都宮市西川田本町4-1-3 ☎028-645-5072

**藤田勝春法律事務所**

弁護士 藤田 勝春 (昭和35年卒)  
宇都宮市清住 3-1-14 ☎028-625-3266

NETIS登録

KT-100005 防草緑化挿し芽植栽工法

株式会社 落合東光園

代表取締役 落合 功 (昭和37年卒)

事務所/河内郡上三川町中子921 ☎0285-56-3751

花と園芸

(株)藤野グリーンセンター

代表取締役 藤野 善勝 (昭和35年・商3回卒)

宇都宮市さつき2-3-5 ☎028-653-8660



文化部 culture

日本管楽合奏コンテスト全国大会で7年連続最優秀賞受賞

●吹奏楽部

今年のテーマは「瞬(またたき)」でした。活動の一瞬一瞬を大切にしようということです。吹奏楽部の活動は大勢の目に触れる機会が多いのが特徴です。活動の幅も広く、数多くの行事で演奏します。その目の前には大勢の聴衆が陣取っています。音楽が感動的であることはもちろん、視覚的にも見る側に楽しんでもらえることが求められます。なぜなら聴衆は演奏後にはその様子を友人や家族にパフォーマンスの素晴らしさを話します。お陰様で年に2度の演奏会ではホールが満席になります。仮に一人が10人に話したとすると、来場した2000人がその10倍の2万人に伝えることとなります。年間に数多く演奏する機会がある我部では直接演奏を聞いた人以外にも大勢の人にその様子が伝わるので、宣伝効果は抜群で、部員募集にも大きく寄与します。ですから、どんな行事でも手が抜けません。我々の近くで演奏を見ている聴衆が善し悪しを評価しているからです。ですから、一瞬一瞬を大事にしたいという思いが自然に染みついて行動出来るようになってきたかなと感じています。良い成果をあげるためにはのんびりしている時間はありません。結果として、テーマである「瞬」は実践できていたと確信しています。

今年度の各種大会での成績ですが、第60回県吹奏楽コンクールでは高校の部D部門(下級生のチーム)は金賞、A部門は34年連続46回目の金賞を受賞。第24回東関東吹奏楽コンクールでは5年連続18度目の金賞を受賞。第40回県高等学校総合文化祭総合音楽祭吹奏楽部門では吹奏楽部会長賞(1位)を5年連続受賞。第24回日本管楽合奏コンテスト全国大会で7年連続最優秀賞を受賞しました。また、今年度は15年ぶりに県マーチングコンテストにも出場しました。メンバーはコンクールに出られない下級生(白組)でしたが、猛暑の中を頑張り、A部門で金賞を受賞。東関東マーチングコンテストで銀賞を受賞しました。

また、6月24日には幕張メッセで甲子園応援コンサートEXPO(拓大紅陵高・習志野高・愛工大明電高・東海大相模高・大阪桐蔭高と本校の6校)で5000人以上の聴衆と甲子園さながらに熱狂してきました。さらに、コンクールメンバーが東関東吹奏楽コンクールに遠征中の9月7日には米米CLUBとメンバー以外の部員が共演する機会にも恵まれました。バスケットリーグ・アーリーカップ2018関東のオープニングスペシャルパフォーマンスにプロバスケットチーム「栃木リンクブレックス」の本拠地であるブレックスアリーナ宇都宮で満員の聴衆の中で、パフォーマンスしてきました。

結びに、私たち作新学院高等学校吹奏楽部は人を育てることが活動の柱であり、このことを忘れてはならないとの思いで、これからもこの思いを大切に活動していこうと思います。



●書道部

<第42回全国学生書写書道展>

印南 遙(英1) 公募の部:学年優勝杯(3位)  
石田 茜音(総2) 席書の部:仁保書写技能検定協会 理事長賞(第5位)

**金田商会**  
代表取締役 **金田真麒**(昭和35年卒)  
宇都宮市松原1-5-5 ☎028-622-1846

**金箱工設株式会社**(総合設備業)  
代表取締役 **金箱忠司**(昭和46年卒)  
宇都宮市雀宮町118-4 ☎028-653-6603  
info@kanebakyo.co.jp  
うつのみやCSRまちづくり貢献企業

**鈴木整骨院**  
院長 **鈴木 仁**(昭和31年卒) 硬式野球部OB会名誉会長  
副院長 **鈴木 和仁**(昭和57年卒)  
宇都宮市鶴田町 2945-16 ☎・FAX 028-633-8066

**傘** 総合建設業  
**株式会社 鱒淵建設**  
代表取締役 **鱒淵 孝男**  
取締役 **鱒淵 智行**(平成11年卒)  
建築部 **小牧 英夫**(昭和56年卒)  
宇都宮市中央3-15-13 ☎028-633-3261



# 作新学院オリジナルランチパック が出来上がりました!

製品名「スクランブルエッグ からしマヨネーズ風味」



山崎製パン株式会社様と作新学院が共同で商品開発を続けてまいりました、作新学院オリジナルランチパック「スクランブルエッグからしマヨネーズ風味」が、2019年1月1日から関東・甲信地区のコンビニ・スーパー等で発売される運びとなりました。

創立133周年を迎えた作新学院の使命は、高い志のもと世の中を刷新すること。記憶に新しいところでは、「オリンピックで金、甲子園でも金!」を実現し、今も各界で活躍する人材を輩出し続けています。そうした意味で、幼稚園から大学・大学院まで約6,000名に及ぶ作新生は、みんな「金のたまご」にたとえられます。「スクランブルエッグ」の中に含まれる、金メダルをイメージした「からしマヨネーズ」が、絶妙な味のアクセントになっています。

この発案は、応募総数約3,750点の中から最優秀作品に選ばれた小学部児童(左記参照)によるもので、これをもとに商品が開発されました。

その他、ランチパックキャラクターのランチちゃん、パックくんのイラストデザイン案も多数応募がありました。皆様からのご協力、大変ありがとうございました。

## お知らせ

今後この作新オリジナルランチパックは、校内ヤマザキYショップ、大手スーパーマーケット、コンビニなどを予定しています。ぜひ、皆様お声かけいただき、購入していただけますようお願いいたします。



## 昌子先生の十年祭に想う

長谷川勝比古

昌子先生を偲ぶ会が、9月28日の創立記念日に、作新アカデミア・ラボ1階のカフェダイニングで行われた。先生が亡くなられて既に10年、まさに「歲月流るるがごとし」である。

当日は学院関係者やゆかりの多くの方々が、思い出を語って、在りし日の昌子先生を偲んだ。

昌子先生を想うと私はいつも、あの温顔が臉に浮かぶ。讓先生亡きあと、私学の経営を担って、さぞご苦労もおありだったろうと思うが、私たちには常に穏やかに優しく接してくださった。

先生のさり気ないお褒めの言葉や激励に、勇気づけられ、やる気を起こした生徒や教職員はどれほどいたか知れない。

船田邸のシロヤシオが咲く季節になると、恒例の

お茶会が開かれたが、作法も知らずに緊張しながら話す自分と、にこやかな先生のお姿を思い出す。

今更ながら、昌子先生にはもう少しお元気でいて欲しかったと思うが、黄泉に赴かれた先生は、学院の繁栄と私たちの幸福のために尽くしてくれているに違いないと思っている。



### 同窓会組織 (執行役員)

会長 安藤 寛樹 (昭和45年卒)  
 副会長 三村 松司 (昭和35年卒)  
 // 鈴木 勲 (昭和38年卒)  
 // 吉高神 渡 (昭和45年卒)  
 // 小牧 英夫 (昭和56年卒)  
 // 渡辺 毅 (昭和50年卒)  
 // 高橋 光男 (昭和54年卒)  
 // 福田 勝江 (昭和31年卒)  
 // 尾花 一浩 (平成元年卒)

事務局長 天野 辰美(昭和45年卒)  
 総務企画部 部長 小池 国夫(昭和45年卒)  
 組織財政部 部長 櫻井 英治(昭和57年卒)  
 広報部 部長 渡邊 幸雄(平成4年卒)  
 文化厚生部 部長 遠藤 盛(昭和58年卒)  
 青年部 部長 安藤 篤史(平成8年卒)

<http://www.sakushin-ogob.gr.jp/>

E-mail:sakushin-dousoukai@sakushin-ogob.gr.jp